

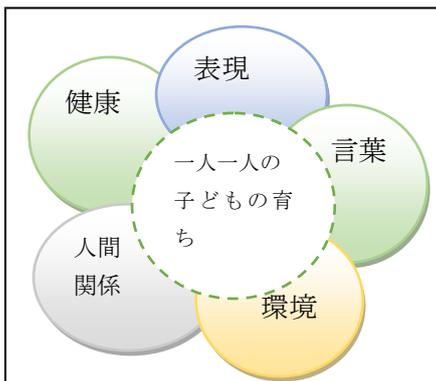
## 2学期制のメリットを生かしましょう！

梅雨明けが待ち遠しい今日このごろですが、いかがお過ごしでしょうか。先生方におかれましては、学校行事や各種研究会等が目白押しで、お忙しい日々を送られているかと思えます。気温の変化も大きく、体調管理が難しい季節ですが、気力・体力を万全にして、夏休みまで残り3週間を乗り切りましょう。

下野市は平成16年度から2学期制を取り入れています。2学期制では、授業時数が確保できるというだけでなく、半年という長いスパンで児童生徒の変化や成長をきめ細かく見取っていくことができるというメリットもあります。7月までの児童生徒の成長を見守りつつ、夏休み明け9月からのスタートへつなげられるよう、前半のまとめと振り返りを児童生徒とともにお願いいたします。

## 「幼小期の学びと育ちを大切につなぎましょう」

先日、下野市役所で幼保小連絡協議会が開催され、総合教育センターより高木恵美先生をお招きし、「幼小接続を見通したカリキュラムの編成・実施について～学力向上を支える幼児期の学びと生活科～」と題して御講話をいただきました。



子どもは、幼児期に身の回りの「人・もの・こと」が学ぶ教材となっており、遊びを中心として頭、心、体を動かしながら人間関係、言葉、表現等を総合的に育てていくということです。（左図：子どもの発達を5領域から捉える）

「～したい」「～できるようになりたい」という心情が遊びを通して育まれる幼児期の学びを、小学校では児童の学習意欲や自信につなげていきたいものです。

今年度「栃木県教育振興基本計画2020－教育ビジョンとちぎ－」の基本施策の一つとして、幼児教育の充実が位置付けられました。また、推進指標の一つとして、5年後までに全校でのスタートカリキュラムの編成・実施を目指すことになっています。

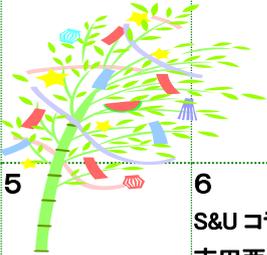
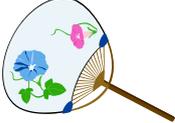
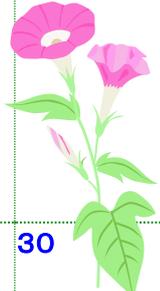
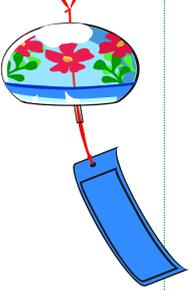
小学校入学当初には、生活科を中心として、時間割や幼児期の学びを生かした学習活動を工夫し、幼小（幼児教育・小学校教育）の緩やかな接続を図ってほしいと思います。児童の実態に基づき、期待する成長の姿を全教職員で共有し、学校独自のスタートアップカリキュラムの編成・実施をお願いします。

「安心」「成長」「自立」がキーワードです！

# 【7月の予定】

※ 7月1日現在の予定です。詳細は文書でご確認下さい。

※ 市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
					1 市栄養教諭・学校栄養 職員研修会 9:00～ 南河内中学校区 小・中一貫教育推進協議 会 9:30～	2 教員選考試験 (筆記)
3	4 教育委員学校訪問 野ばら幼稚園 10:30～ 古山小 12:15～	5 	6 S&U コラボ 吉田西小 国分寺小 国分寺東小 要請訪問 石北小	7 市学力向上部会 (学習意欲・国語・算数数 学)15:00～ S&U コラボ 石橋中 	8 県中学校春季体育大会 (水泳) (～9日)	9 教員選考試験 (実技)
10 教員選考試験 (面接)	11 S&U コラボ 吉田東小・古山小 とちぎっ子活用研修会 総教センター	12 市教科書選定 委員会②14:00～ S&U コラボ 石橋小	13 教育委員学校訪問 緑小11:55～ 要請訪問 薬小	14 市小・中教頭会 14:00～ 事務研修会 14:00～	15 定例教育委員会 学校図書館活用研究会 15:00～	16 下地区中学校総 体大会 (野球)
17 下地区中学校 総体大会 (野球)	18 海の日 下地区中学校総体大 会(野球) 	19	20 	21 夏季休業→ 下地区中学校総体大会 (～23)	22 下地区小教研 A 部会	23 
24	25 サマー・イングリッシュ・フ ォン 生涯学習情報センター 市小学校陸上記録会 栃木市陸上競技場 下地区養護教諭 部会研修会 13:30～ 県南地区小学校体育 実技指導者講習会 (～26)栃木市	26 	27 特別支援教育推進 研究会 9:00～	28 県中学校総体大会(～30) 教育課程研究集会(小) 壬生町城址公園 中央公民館 9:30～ 	29 市学校給食調理員 従事者研修 9:15～ 市学校食育研究委員会 13:00～ 市学校給食研究会学校 給食関係職員研修 15:00 下地区自閉症・情緒障害 特別支援学級担当教員 等研修会 下庁舎 9:00～	30 
						31

以前読んだ本の中で、「教える側が教科と自分を語る姿勢をもつことの意義」として「自分を語ることを通じて暗黙のうちに一定の教科の教育について探究心という奥深いレベルが示される」というくだりがありました。

なるほど・・・失敗談や経験談を語ったことは無駄にはなっていないのだな、と自分自身を振り返ってみて、少し安心したことを覚えています。

夏休み中、様々な研修会等を通して、児童生徒のため、あるいは自分自身のために学んだことや、先生方御自身の体験談等を、夏休み明けにお話してみたいかがでしょうか。児童生徒の好奇心は計り知れないものです・・・

